

会議の名称及び会議の回	令和4年度 第3回飯田市上下水道事業運営審議会
開催日時	令和5年1月20日（金） 午前10時30分から午前11時40分まで
開催場所	飯田市役所 第2委員会室
出席委員氏名	下田一則、橋都まり子、菅沼文秀、木下容子、水口芳昭、吉川哲史、宮澤敏紀、熊谷貴美子、鋤柄富男
欠席委員氏名	大澤幸子、熊谷芳巳、熊谷真由美、玉置節子
傍聴者	なし
出席事務局職員氏名	土屋上下水道局長、滝沢経営管理課長、佐々木水道課長、関島下水道課長、吉地下水浄化センター所長、原下水浄化施設担当専門幹、村松経営管理課長補佐、柳澤水道課長補佐、筒井上水道経理係長、加藤庶務係長
会議の概要	以下のとおり

1 協議事項

- (1) 水道料金改定の諮問
- (2) 諮問事項に係る意見・質問

2 主な意見

- ・賃金が上がらないのに物の価格だけが上がっていくため、実質賃金も下がっているという状況にある。また、水道以外の公共料金も電気や通信費等上がっている状態であるため、それによって生活を脅かされているという状況にある。そういった状況において水道料金も上げなければいけないというような状況は、市民の負担があまりにも大きすぎる。今の時期にこれをやるべきではない。
- ・賃金が上がらないタイミングでの値上げについては反対。
- ・値上げについては反対だが、水道設備の更新計画については、行うべきである。
- ・賃金が上がり料金改定ができるタイミングとなるまでは一般会計からの補てんをすればよいのではないかと。
- ・18%の改定はこれまでになかった、大変な料金改定だ。
- ・電気料金も高騰しているが、このタイミングで値上げするのかという意見に賛同する。
- ・水道事業会計は独立採算制ということもわかるが、今回は一般会計からの水道事業会計への繰入金もあると考える。
- ・これまで料金改定をせず、ここまで運営してきたことに敬意を表す。
- ・耐震対策や老朽化対策は飯田市にとっては待ったなしの状況だということは理解した。
- ・そのうえで、料金改定の主な理由が、老朽化に対する大規模更新のための財源確保とすれば、物価高騰で市民や企業も厳しい中で、今どうしてもやらなければならないのかと考える。
- ・令和6年度に水道事業を所管する省庁が国土交通省となる。インフラの更新になんらかの変化も期待するので、令和6年度まで待ったらどうか。

3 協議結果等

- ・資料の内容について理解を深めるため、次回までに質問を受け付けることとした。
- ・次回は諮問に係る質問に対する回答等を踏まえ協議する。

会議の名称及び会議の回	令和4年度 第4回飯田市上下水道事業運営審議会
開催日時	令和5年1月30日(月) 午後1時30分から午後3時20分まで
開催場所	飯田市役所 第2委員会室
出席委員氏名	下田一則、橋都まり子、菅沼文秀、木下容子、水口芳昭、宮澤敏紀、大澤幸子、熊谷芳巳、熊谷貴美子、鋤柄富男、熊谷真由美
欠席委員氏名	吉川哲史、玉置節子
傍聴者	なし
出席事務局職員氏名	土屋上下水道局長、滝沢経営管理課長、佐々木水道課長、関島下水道課長、吉地下水浄化センター所長、原下水浄化施設担当専門幹、村松経営管理課長補佐、柳澤水道課長補佐、桜井下水道課長補佐、筒井下水道経理係長、加藤庶務係長
会議の概要	以下のとおり

1 協議事項

- (1) 各委員から提出された質問に対する回答
- (2) 建設改良計画の取り扱い
- (3) 改定時期について

2 主な意見

- ・建設改良計画の事業費の抑制は必要だが、他の社会資本も老朽化していく現状で、水道事業だけ待ったをかけるのはできない。建設改良計画は進めていくべき。
- ・何十年前に作られた施設は、改修が待ったなしの状況である。建設改良計画は進めていくべきとの意見に賛同する。
- ・建設改良計画は待ったなしであると思う。料金が上がるのは厳しいと感じている。
- ・改修が必要なことも、値上げが必要なことも理解できるが、時期的に今必要なのか。生活していく中で、もう少し先延ばしにしていきたい。
- ・老朽化しているものは更新しなければいけないのでやっていただきたい。
- ・料金に関しても利用者負担であるので、使用している者が負担するのは当然である。
- ・老朽化した配管を更新するのにお金がかかるということは理解できたが、今すぐ値上げをすることは悲しいと感じる。
- ・施設の更新に関しては、今当たり前に使っている水は、当たり前ではなく、環境も昔と変わってきているためお金がかかると思うので、改良は、進めていただく必要がある。
- ・料金については、色々値上がりして苦しい中にあるが、遅らせれば遅らせただけ負担が増えていくと考えると、時期はあまり遅らせることができない。しかし、上げる率をもう少し工夫できないか。
- ・値上げをすることは一番簡単である。本当にそれでよいのか市の方でも考えていただきたい。
- ・老朽化している施設を更新していくことは大事なこと。当たり前に使っている基になっていると思うので、やっていくべきであると思う。
- ・一方で使用する側から見れば、値上げをすることは不安である。ただ、もっと悪い方向に向かうのであれば今からでも仕方がないかと思う。
- ・施設の改良については、改良しなければ飲料水の供給が滞るというリスクがあるので当然やっていくべきである。値上げは大変ではあるが、先延ばししたからといって施設がよくなるわけではない。
- ・1、2年延ばしたところで物価が下がる保証はない。計画どおり値上げを行い、その中で見直しをしていくべき。
- ・時期については、少なくとも半年は遅らせるべき。できれば1年遅らせた方がよいが、今年は電気料をはじめ、物価の上昇が続いており、少なくとも年は越えた方が望ましいのではないかと思う。
- ・1年は延ばさないと無理だと思う。
- ・改修は当然やらねばならないが、料金の改定に関しては、遅らせるのが市民感覚から見れば当然。

- ・今現在苦しい状況にあるが、1年遅らせると後の人が苦しむことになる。世界情勢がすぐに元どおりになるとは考えにくく、経済情勢が上向いてくれば、後から負担が増えてもよいかもしれないが、それはなかなか難しい。これからの人達に負担を先送りするのは心苦しい。審議会として後々のことも考慮すべき。
- ・期日については、令和6年4月頃がよいのではないか。
- ・半年周知期間を設けて、令和6年1月頃はどうか。

3 協議結果等

- (1) 令和5年度から28年度までの24年間の建設改良計画は認める。
- (2) 改定する時期は、令和5年10月1日から令和6年4月1日までの間とする。
- (3) 次回、改定時期を遅らせた場合、改定率を下げた場合の収支見直し提示願ひ、これを踏まえ改定率等も協議する。

会議の名称及び会議の回	令和4年度 第5回飯田市上下水道事業運営審議会
開催日時	令和5年2月20日(月) 午後2時00分から午後3時18分まで
開催場所	飯田市役所 A301.302会議室
出席委員氏名	下田一則、橋都まり子、菅沼文秀、木下容子、水口芳昭、吉川哲史、宮澤敏紀、大澤幸子、熊谷芳巳、熊谷貴美子、鋤柄富男、玉置節子
欠席委員氏名	熊谷真由美
傍聴者	なし
出席事務局職員氏名	土屋上下水道局長、滝沢経営管理課長、佐々木水道課長、関島下水道課長、吉地下水浄化センター所長、原下水浄化施設担当専門幹、村松経営管理課長補佐、柳澤水道課長補佐、桜井下水道課長補佐、筒井上水道経理係長、加藤庶務係長
会議の概要	以下のとおり

1 協議事項

- (1) 委員から提出された質問に対する回答
- (2) 改定時期について

2 主な意見

- ・市長の選挙の際のマニフェストには、水道料金値上げ政策は書かれていない。水道料金の値上げは痛みを伴った政策であるので、市民からの信任を受けて行うべき。
市の政策は最終的には議会で決められるが、値上げの表明をする前に市議会議員の選挙も終わっているため、議員もその点では、市民の信任を得ていない状況である。
時期については、前回の会議で集約されたが、令和6年10月以降に行うべき。
- ・新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰対策として交付される、交付金を水道料金へ活用できないか。
- ・SNSや市の広報を通じて水道事業の現状を伝えてもらいたい。
- ・時期について令和6年10月との提案があったが、前回の審議会で決定したとおりの期間の中で決めるべき。
- ・改定時期については、一刻も早く、かつ、今年度の電気料等物価上昇が厳しいため、年が違う方が良いと考えた。率については、とても悩ましいが、11%にして欲しい。独立採算なので、水道料金で賄うことが基本だが、令和6年1月とした場合、3年間で2億7,000万円余が不足する。これを一般会計から繰り入れることは可能か。

(副市長)

- ・提案時期より遅れる部分の減収部分と、11%にした時の減収部分をどうするかということになる。
- ・個人的な考え方だが、この3年間の経営を安定化させるための料金改定をお願いしたので、それが現下の状況の中では厳しいということで先送りした部分は、水道事業会計を安定化するための3年間の臨時的措置として議会に諮り、その部分を補てんしていくべきであると考える。
- ・その後の期間の料金をどうするかについては、11%、9%とあったではないか、ということではなく、必ず次に影響するため再計算し、改めて提案していくことになる。

3 協議結果等

- (1) 改定する時期は、多数決により令和6年1月1日とした。
- (2) 次回、改定率について協議する。